



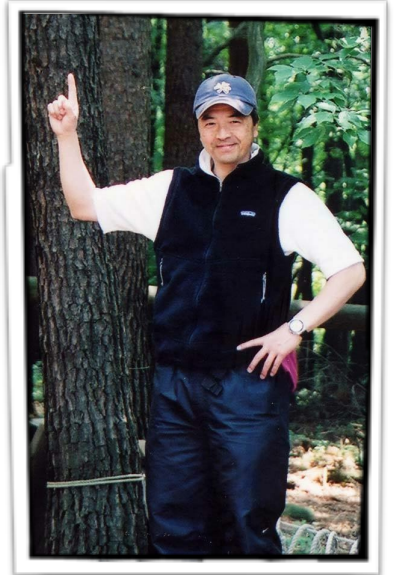
学びのデザ イナー

難波 克己 (なんばかつみ)

2017.2/4 am9-pm5
川崎市青少年の家

プログラムデザインとは何を
意味するのか？を演習＋フィー
ドバックをグループワークを
行いながら学びを深めていく。

講師紹介：難波克己氏1953年 横浜に生まれ、高校終了後留学をめざすために英語を学びに行った横浜YMCAの社会体育と野外教育の世界に自分の生きる道を見出しボランティアリーダーとして活動。その後、アメリカの大学に留学を果たし、アメリカのキャンプカウンセラーを経験。セラピューティックレクリエーション等、レクリエーション教育、野外教育を専攻。NOLS出身の恩師に影響を受け遠征プログラムを体験することからWilderness Educationに興味を持つ。その後、OBSプログラムに出会い、インストラクターとして家庭裁判所と教育委員会共催事業における反社会的、非行青少年更生プログラムに関わり、学校教育と更生プログラムの融合を経験。その後、大学院においてカウンセリング、スポーツ心理学を専攻し、コーチング学、適応体育学など様々な障害を持ちながらも自立を目指す人たちを対象にした。幅広いHuman Service ワークと出会う。大学院がマサチューセッツ州であったことから

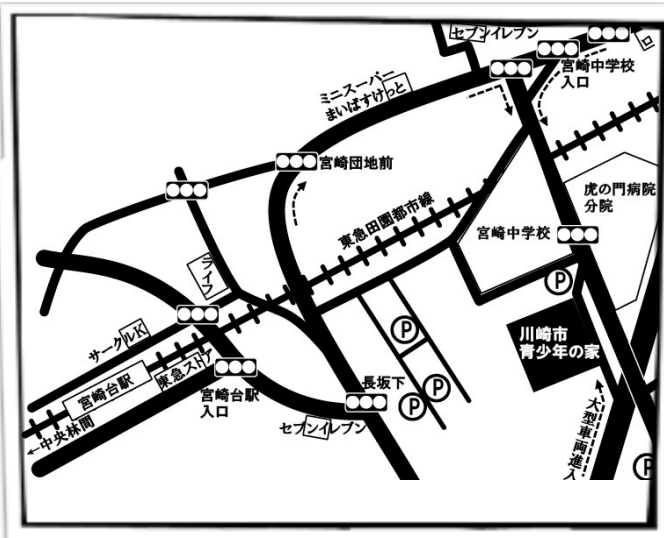


プロジェクトアドベンチャー（PA）を学ぶ機会を持ち、野外教育とスポーツ教育の領域で学びと指導経験を深めて帰国。

1995年に日本にPAJが設立され最初の公認トレーナーになり全国普及活動を展開した。2005年に国内の大学機関において最初のPAチャレンジコースを持つ玉川大学に移籍。

会場案内

東急田園都市線宮崎台駅 徒歩 12分
 駐車場が無いので公共交通機関をご利用ください。



学びのデザイナー

プログラムデザインの方法

日時 2017年2月4日（土）

受付開始 9時

講習 9時30分から16時30分

会場 川崎市青少年の家 プレイルーム

川崎市宮前区宮崎105-1

東急田園都市線宮崎台駅 徒歩12分

費用 一人 五千円 当日徴収（昼食代金含む）

内容

受講される皆様の実践を振り返り、体験学習サイクルで表現されるWhat?(何をしているのか?)

SoWhat?(それはどのような意味をもっているのか?)、

Now What?(そこから得られたことをどのように進めていくのか?) 学びのサイクルを検証して、体験とグループワークのプロセシングの大切さを考える。

- プログラムデザインの方法
 - リーディング/ファシリテーション
 - PAモデル/グループファシリテーション/プロセシングを学ぼうとする6時間を目指しています。
- 各自、自信を持って帰ることを目標にしていきます。

持ち物 筆記用具 上履き 動きやすい服装 マイカップ

定員 先着 40名（最少人数15名）

申込方法 (URL mailアドレスは下に記載)

氏名 性別 年齢 連絡先 所属団体 受講動機などをご記入して、次の方法でお願いします。

- 1 NPO大自然のひろばホームページから申込
- 2 メールで申込

締切 2017年1月25日（水）12時

申し込まれた方には確定通知をメールでお知らせします。



主催者 特定非営利活動法人 大自然のひろば
 amazing field in the great nature nonprofit organization

ホームページ <http://www.af2015.org/>

メールアドレス info@af2015.org

